

予 算 ・ 決 算 特 別 委 員 会
観 光 建 設 分 科 会 要 点 記 録

○開会日時 令和7年6月30日（月） 午前10時7分

○場 所 伊東市役所第2委員会室

○出席委員 6名

1 番	鈴 木 絢 子 君	2 番	竹 本 力 哉 君
3 番	青 木 敬 博 君	4 番	井 戸 清 司 君
5 番	浅 田 良 弘 君	6 番	犬 飼 このり 君

○出席議員 12名

議 長	中 島 弘 道 君	議 員	重 岡 秀 子 君
議 員	虫 明 弘 雄 君	〃	河 島 紀美恵 君
〃	村 上 祥 平 君	〃	長 沢 正 君
〃	篠 原 峰 子 君	〃	杉 本 憲 也 君
〃	佐 藤 周 君	〃	大 川 勝 弘 君
〃	杉 本 一 彦 君	〃	宮 崎 雅 薫 君

○説明のため出席した者 11名

観 光 経 済 部 長	小 川 真 弘 君
観光経済部観光課長	佐 藤 文 彦 君
同 産 業 課 長	川 口 貴 保 君
同公営競技事務所長	福 西 淳 君
建 設 部 長	高 田 郁 雄 君
建設部次長兼建設課長	山 田 昌 弘 君
同 建 築 住 宅 課 長	横 山 亨 君
同 都 市 計 画 課 長	堀 川 淳 君
上 下 水 道 部 長	稲 葉 信 洋 君
上下水道部下水道課長	池 谷 伸 弘 君
同 水 道 課 長	佐 藤 純 君

○出席議会事務局職員 3名

局 長	富 岡 勝	局長補佐	里 見 和 彦
主 査	山 田 拓 己		

○会議に付した事件

1 市議第 5 号 令和7年度伊東市一般会計補正予算（第1号）歳出所管部分

○会議の経過概要

○委員長（井戸清司君）開会する。

○委員長（井戸清司君）観光建設分科会においても、引き続き傍聴の申入れがあるので、ご了承願う。

この際、お諮りする。付託議案の説明は既に本会議において終了しているので、分科会における説明は省略したいと思う。これに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（井戸清司君）異議なしと認め、さよう決定した。

この際、申し上げる。審査に当たって、議題に対する質疑は簡潔に、議題から外れないようお願いする。あわせて、審査の進行が円滑に進むよう、何ページの何の事業についてなどの一言を添えるよう協力をお願いする。

○委員長（井戸清司君）日程第1、市議第5号 令和7年度伊東市一般会計補正予算（第1号）歳出所管部分を議題とする。

直ちに質疑に入る。第7款観光商工費について質疑を行う。事項別明細書は9ページ及び10ページになる。発言を許す。

○1番（鈴木絢子君）今回、観光施設バリアフリー化促進支援事業ということで、議場の説明では民間観光施設という話だったが、こちらの詳細と、どのような工事になるかを教えてほしい。

○観光課長（佐藤文彦君）今回の補助金の対象施設として、宿泊施設、飲食店、土産物屋、道の駅等の民間の事業所が対象となっている。対象事業としては、バリアフリー法に定める建築物移動等円滑化基準に適合するような改修という形で考えている。

○1番（鈴木絢子君）補助額は上限が幾らとか、補助率とかはあるのか。

○観光課長（佐藤文彦君）1施設当たりの上限額が500万円で、対象経費の2分の1が補助率である。

○6番（犬飼このり君）調べると県のほうでこの事業費補助金についてなかなかページが出てなかった。新聞の記事が出てきて、これがユニバーサルツーリズムの一環であって、補助金を使うみたいなのが書いてあった。これは24日の日経に載っていたものであるが、実証実験をやっているということだった。今言っていた宿泊、飲食、土産物屋、道の駅ではなく、Ma a Sの部分で使っていると新聞には載っていたと思うが、この辺を説明してもらいたい。

○観光課長（佐藤文彦君）今回提案している補助金も県のほうと連携して行う事業で、先ほど犬

飼委員がおっしゃったソフト事業、ユニバーサルM a a S実証事業という形で県が行っているものに対して、本市が手を挙げて実施することになっている。ユニバーサルM a a S実証事業というのは、ユニバーサルマップの作成とか運用、例えば車椅子で通行が可能な経路とかを表示するデジタルマップをつくるようなことを考えている。それと、一括サポート手配システムの構築とか運用もユニバーサルM a a S実証事業でやる予定である。今回、それに対して、補助金を出してハード施設をユニバーサル化していくというもので、本市は今年度2つの事業に取り組んでいくという形で考えている。

○6番（犬飼このり君）では、別事業ということで分かった。民間のほうの予算に上がっている分は、予算が1,000万円で、1施設上限額が500万円ということであるが、上限いっぱい使ったら2施設しか利用できないのか。

○観光課長（佐藤文彦君）当初は見込みとして10事業所のバリアフリーの改修費200万円程度という形で見込んだが、今、意向調査をやっており、今後、金額が上がるようだったら県とも相談させていただいて、補正なり、そういった対応を考えていきたいと思っている。

○5番（浅田良弘君）1点だけ教えてほしい。これまでの質疑の内容で、バリアフリー化、ユニバーサルデザインを推進していく中で、県の方向性も障がい者や高齢者が使いやすい施設ということであるが、どういった障がいを持っている方や高齢者に対してバリアフリー化を進めていこうと考えているか。

○観光課長（佐藤文彦君）浅田委員がおっしゃったとおり、障がいのある方だけではなくて、高齢者についても不便なく、なるべく誰でも伊東の町並みを歩けるような形で考えているので、特に程度とかは考えていない。とにかく誰でも楽しく安全に旅行ができるような形で考えている。

○5番（浅田良弘君）分かった。点字ブロックを歩くという点で、以前、バリアフリーを専門にしている方に、伊東市は設置の仕方が違うという指摘を受けたことがあった。例えば、入り口の真ん中辺りに点字ブロックの通路があるが、そうすると、なかなか人の行き交いがしにくいというのがあるらしくて、バリアフリー化を進めていく中で、最も適したバリアフリー化があると思うが、そういった専門的な方々の意見も取り入れるのか。

○観光課長（佐藤文彦君）今回、ハード事業のほかにソフト事業、M a a S実証事業を行って、様々な方にも取り組んでもらう。社会福祉協議会とか、商工会議所とか、観光協会とか、あと静岡ユニバーサルツーリズムセンターとか、そういったM a a Sの専門のところにも相談をしながら進めていくという形になるので、今までそういったところがあったかもしれないが、多くの観光に携わる方がユニバーサルデザインという形で取り組んでいただくことによって、地域全体として進んでいくものと考えている。

○委員長（井戸清司君）ほかに質疑はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（井戸清司君）これをもって質疑を終結する。

これより討論に入る。発言を許す。

○6番（犬飼このり君）賛成の討論である。一言、物申したい感じで伝える。ユニバーサルツーリズムに関しては、私もずっと訴えていたところなので、ぜひ積極的に進めていただきたいと思う。今回は県のほうの補助金で民間の施設に対するものであるが、同時に市として一緒にやらなければいけないことを考えていってほしい。そのための討論である。残念ながら副市長が空席で、今回、市長も出席していないので、皆さんにお伝えするしかないが、市の方針として全体のバリアフリーを考えていただきたくて、今もあったように、観光のもの、都市整備全体がバリアフリーにならなければいけないと思っている。区画整理をするときでも作業療法士の方の意見を聴くとか、市内に障がい者の旅行をやっている方がいらっしゃるので、そういうところの意見を聴いて都市計画も進めていってもらいたいと思う。前からお願いしていたバリアフリービーチのことなども観光と併せて考えていっていただけたらいいと思っている。障がいを持っている方だけではなく、小さいお子さんとか高齢者なども一緒になってくるとし、バリアフリービーチは絶対有効だと思う。あと、温泉のまちであるが、相変わらずタトゥーの入っている人だけを排除するような施設もあるので、こういったこともユニバーサルという観点では必要なものになってくるのではないかなと思う。市のほうとして、しっかりした観光の施策、そして都市計画の施策としてつなげていっていただきたいと思う。補正予算には賛成する。

○委員長（井戸清司君）ほかに討論はないか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（井戸清司君）討論なしと認める。これをもって討論を終結する。

これより採決する。市議第5号歳出中、本分科会所管部分は原案を可決すべしと決定することと賛成の諸君の挙手を求める。

〔賛成者挙手〕

○委員長（井戸清司君）挙手全員である。よって、さよう決定した。

○委員長（井戸清司君）以上で日程全部を終了した。

分科会審査報告書の案文については、正副委員長に一任願う。

○委員長（井戸清司君）これにて予算・決算特別委員会観光建設分科会を閉会する。

○閉会日時 令和7年6月30日（月）午前10時18分（会議時間11分）

以上の記録を認める。

令和7年6月30日

委員長 井戸清司